

小学部の学び ～感触遊び～

小学部は、5月に身体をダイナミックに動かして活動する“プレイフェスタ”を終えました。6月からは、各クラスぬたくりなどの様々な感触あそびや、プール学習に向けて水を使った遊び（魚釣りや水鉄砲など）を授業に取り入れて学習しています。今回は感触遊びを行っている小学部7組の授業の様子を御紹介します。

小学部7組には、訪問生（ご家庭に教員が訪問し学習している生徒）も在籍しています。体調に合わせて学校に登校し、クラスの友だちと一緒に持てる力を存分に発揮し学習しています。

この授業では6月ということで皆カエルに変身し、おたまじゃくし体操に合わせて腕や手指を動かして準備することから始まります。その後、海藻に見立てた花紙を選び、それぞれ子どもたちに合わせて最も力が入りやすい姿勢で紙を破きます。また、破り方も腕を動かしたり、指を使って破いたり実態に応じてそれぞれです。破れる紙を見たり、ビリビリ破れる感触や音を感じたりしています。



次に川の中で遊ぼうということで、破いた花紙や半紙を水糊につけて、カサカサからぬるぬるに変わる感触の変化や、冷たい・温かいの温度の変化を味わいながらさらに紙を細かくしていきます。手や足を使って行いました。



最後は深い川に潜って水面に光る海藻（花紙）を見て楽しみました。これは視覚的に見えやすいよう、光をつけて紙をペットボトルや袋に入れて混ぜています。光と同時に水の音も感じられるようにしています。

そしてザルに入れて乾けば完成です。それぞれ可愛らしいあじさいの花が出来上がりました。

